

2018年10月12日

一般社団法人日本化学工業協会

日本動物実験代替法学会 第3回 日化協 LRI 賞 受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:淡輪敏(三井化学㈱代表取締役社長)、以下「日化協」)は、研究者奨励(育成)の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた業績をあげた研究者を表彰するため、日本動物実験代替法学会(JSAAE 会長:酒井康行)内に設立した日化協 LRI 賞^{※1}の第3回目の受賞者を正式に決定いたしました。

^{※1}Long-range Research Initiative = 長期自主研究活動



[受賞者] 古水 雄志(こみず ゆうじ)

崇城大学 生物生命学部 応用生命科学科

[テーマ] Maintenance of Viability and Functional Expression of

Cryopreserved Human Hepatocytes using Silicate Fiber-based
Three-dimensional Scaffold

(邦題) 「シリカファイバー三次元培養担体を用いたヒト凍結肝細胞の生存
および機能発現の維持」

[受賞理由] (主に以下の業績が評価されました。)

化学物質の肝毒性を評価するためには、ヒト肝細胞の生存および機能維持の培養法の確立が必須である。本研究課題は三次元培養を用いたヒト凍結肝細胞の生存および機能維持について明らかにし、肝細胞を用いた試験系の確立に大きく貢献した。また、ヒト肝がん細胞の三次元培養系を用いた抗がん剤の薬剤耐性の発現を *in vitro* で再現し、薬剤耐性阻害剤の新規スクリーニング系の開発を行っている。

上記から、ヒト肝細胞の三次元培養を中心とした代替法の研究に大きく寄与しており、今後も更なる代替試験法開発への貢献が期待できる

なお、授賞式は、11月24日に崇城大学(熊本市)で開催する日本動物実験代替法学会第31回大会にて執り行われます。

LRIは、国際化学工業協会協議会(ICCA)に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年より運営されているグローバルプログラムであり、化学物質の安全性を向上させ、不確実性を低減させることを目的に、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援している自主活動です。日化協では2000年よりLRIを通じた研究支援を行っています。「日化協 LRI賞」は、LRIの認知拡大および理解促進を図るとともに、同分野の優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して2015年より設立いたしました。JSAAEならびに日化協LRIホームページで公募を行い、JSAAE内学術委員会にて厳正なる審査を経て、日化協LRI賞へ推薦された候補者を日化協が正式に承認し受賞者が決定します。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

一般の方: (一社)日本化学工業協会 LRI事務局 田所 TEL:03-3297-2575
報道関係: (一社)日本化学工業協会 広報部 永井 TEL:03-3297-2555